

第34回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

優 勝 流山マリーンズ
準優勝 カージナルス
第三位 柏ドリームス
第四位 高野台ジャガーズ



開催期間 平成26年11月～平成27年2月

主 催 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 運営委員会

後 援 柏市・流山市・野田市・松戸市 各少年野球連盟

株 式 会 社 カリフ・柏 食 品 株 式 会 社

ダイワマルエス株式会社 朝日スポーツキッズ

流山ボーイズ

旬をつくる、カリフの麺。



株式
会社 カリフ

柏市旭4-11-8
☎ 04-7147-9691

第34回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

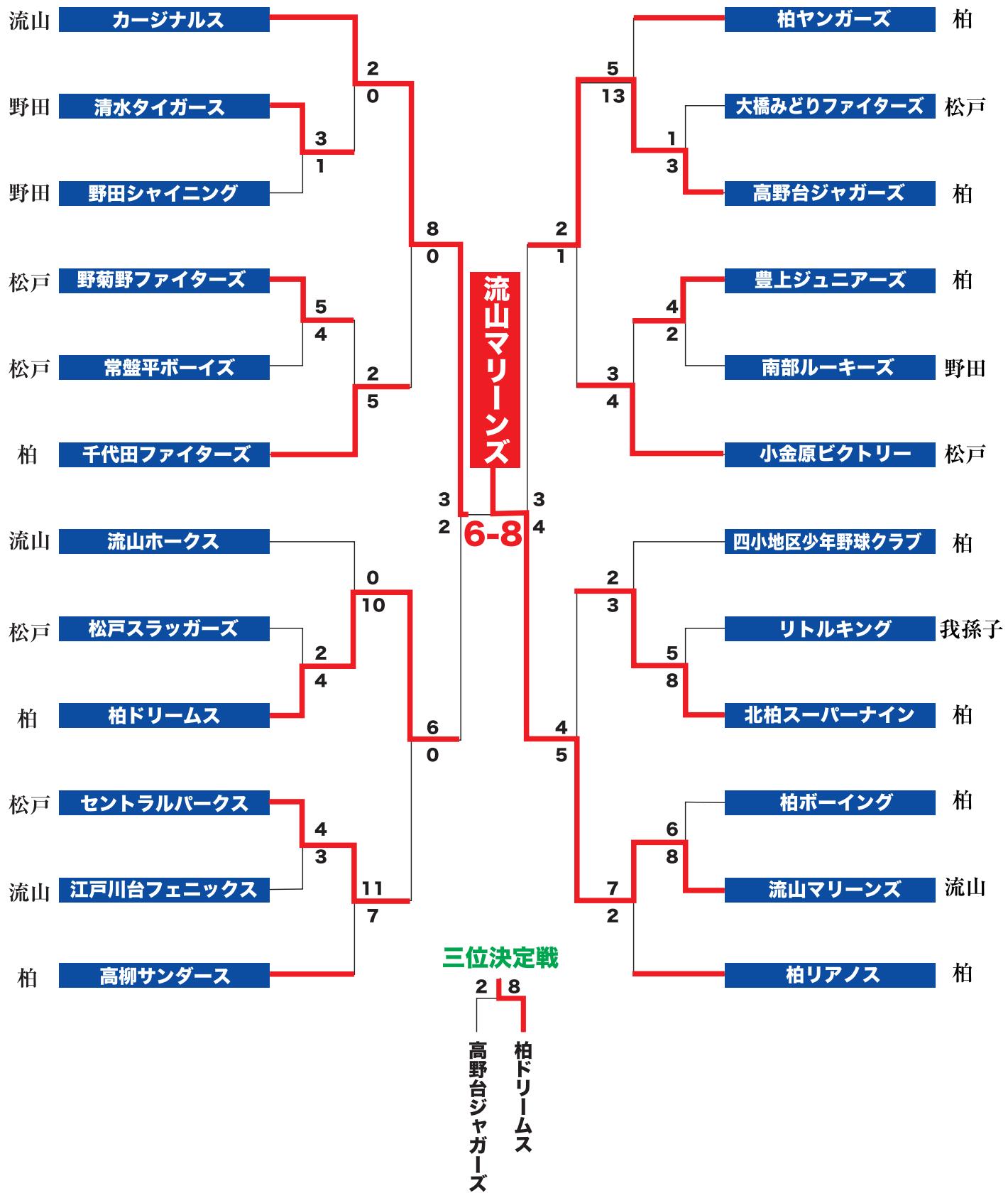
目 次

伝統ある二本の優勝旗（写真）	1
第34回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 成績表	2
決勝大会 概評	3
ベスト4チーム（写真）	5
大会スナップ写真	7
ブロックリーグ戦 成績表	17
ブロックリーグ戦 概 評	20
第34回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会出場チーム名	31
新聞掲載記事「朝日スポーツキッズ」 平成27年2月28日 No.244	32
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 歴代ベスト3	33
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会開催要項（平成25年一部改正）	34
カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会役員名簿（平成25年11月改選）	37
第34回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会会計報告	38

※写真提供は、共同写真企画



第34回カリフ・マルエス旗争奪少年野球 決勝大会成績表



☆ ★ 決 勝 大 会 概 評 ★ ☆

流山マリーンズが同地区対決制して優勝

カージナルス準V 三位は柏地区対決で柏ドリームス

第34回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会の決勝大会は、今年度参加した総数68チームが12のブロックに分かれてそれぞれリーグ戦を行い、そのうちの各ブロックの上位2チーム、合計24チームが出場して、平成27年1月25日（日）から2月7日（土）、8日（日）、11日（祝日）、14日（土）の5日間にわたって、野田河川敷グランドで開催された。

今大会は初日の1回戦から接戦が相次いで、さすががブロックリーグ戦で上位を占めた実力派のチームが出揃って、一気に熱気が漲った。しかも初日の1回戦8試合は、得点差がすべて1～3点差以内の拮抗した試合で、嫌が上にもムードは盛り上がった。

その中では、Fブロック1位の常盤平ボーイズ vs Eブロック2位の野菊野ファイターズ戦が圧巻で、4-4の同点からサドンデス試合となり、常盤平ボーイズが勝利するなどハイレベルの試合は見応えがあった。

さらに二日目の2回戦でも、カージナルス vs 清水タイガース戦をはじめ、小金原ビクトリー vs 豊上ジュニアーズ戦、北柏スーパーナイン vs 四小地区少年野球クラブ戦などの各試合は、1点を争う緊迫した接戦で大いに緊張感が高まり、大会はさらに白熱した。

この結果、二日目が終ってベスト8に進出したチームは、柏地区の千代田ファイターズ、柏ドリームス、高野台ジャガーズ、北柏スーパーナインと、流山地区のカージナルス、流山マリーンズ、松戸地区のセントラルパークス、小金原ビクトリーの各チームで、ベスト4を賭けた戦いは三日目の2月8日に野田河川敷グランドのC面とD面で行われた。

この日の4試合は、まずC面がカージナルス vs 千代田ファイターズ戦と、柏ドリームス vs セントラルパークス戦。D面は高野台ジャガーズ vs 小金原ビクトリー戦と北柏スーパーナイン vs 流山マリーンズ戦となった。そして、C面の2試合がカージナルスと柏ドリームスの一方的な勝利に終ったのに対し、D面は2試合とも1点差の緊迫感溢れる大接戦となって、北柏スーパーナインと流山マリーンズが勝ち上った。

かくしてベスト4チームによる栄冠への登竜門とも言える準決勝戦の2試合は、2月11日野田河川敷グランドC面で火花が切って落とされたが、この2試合はさすがにこれまでの難関を突破してきたチーム同士の一戦だけあって、僅差での息詰まる熱戦だった。結果は、第一試合のカージナルス vs 柏ドリーム戦は3-2でカージナルスが勝ち、第二試合の高野台ジャガーズ vs 流山マリーンズ戦も4-3で流山マリーンズが勝利して、栄冠を賭けての決勝戦は、何とカージナルスと流山マリーンズの流山地区同士の対決となつた。

決勝戦のカージナルスと流山マリーンズの一戦は、大会の最後を飾るに相応しい大熱戦となつた。流山マリーンズが2回に1点を先制すれば、カージナルスが3回に2点を挙げて逆転、さらに4回にも1点を追加して、一時は2点のリードをつけて試合を有利に進めた。しかし、追う流

山マリーンズは後半怒涛の反撃をみせて、5回に1点を挽回、さらに6回には遂に同点に追いついた。ここで時間となり試合はサドンデスとなった。そして、特別イニングの初回（7回）に両チーム1点ずつ取り合い、試合は特別イニングの最終回となる2回（8回）目に突入した。

この回流山マリーンズは凄まじい猛攻を見せて一挙4点を挙げて、優勝に大手をかけた。粘るカージナルスはその裏必死の反撃で2点を挽回して意地を見せたが、結局ここまで、優勝の栄冠は流山マリーンズに輝いた。敗れたカージナルスにとっては、この回の4失点は余りにも負担が大き過ぎた。

決勝戦に相応しい大熱戦を展開したこの2チームはともに流山地区で、今後はライバルとして凌ぎを削りあうことは間違いないが、最後に白熱した好試合で大会に有終の美を飾ったのは素晴らしいかった。なお、決勝戦がサドンデス試合となり、しかも規定の2イニングを目一杯戦ったのは、大会史上珍しいケース。

ちなみに、柏ドリームス vs 高野台ジャガーズの三位決定戦は、決勝戦と並行して行われたが、この一戦は柏地区同士の対決となった。高野台ジャガーズが初回に2点を先取して主導権を握ったものの、柏ドリームスが3回と4回に猛攻を重ねて大逆転し、4回終了時点で時間切れとなってゲームセットとなった。振り返れば、この試合は柏ドリームスの打線の元気良さが際立った。

以下最終日の成績。

◆三位決定戦 平成27年2月14日（土） 野田河川敷グランドD面

柏ドリームス	0	0	3	5	=	8
高野台 ジャガーズ	2	0	0	0	時間切れ	= 2

◆決勝戦 平成27年2月14日（土） 野田河川敷グランドC面

流山マリーンズ	0	1	0	0	1	1	①	④	=	8
カージナルス	0	0	2	1	0	0	①	②	=	6





優 勝 流山マリーンズ -流山-



準優勝 カージナルス -流山-



第三位 柏ドリームス -柏-



第四位 高野台ジャガーズ -柏-

開会式

於 野田河川敷グランド
平成 27 年 1 月 25 日



元気に選手宣誓



平田大会運営委員長



松崎会長



整列する決勝大会出場チームと代表選手たち



熱戦 スナップ!













受賞スナップ

平成27年2月14日
於 野田河川敷グランド





ブロックリーグ戦 勝敗表

A block

順位		小金原ビクトリー	高野台ジャガーズ	前ヶ崎クラブ	サンスパッツ	松葉ニューセラミックス	中根ヤンキース	試合	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	小金原ビクトリー (松戸)	○	●	○	○	○	○	5 数	4 利	1 戦	0	8	36	9	27
2	高野台ジャガーズ (柏)	●		○	○	○	○	5 数	4 利	1 戦	0	8	35	8	27
3	前ヶ崎クラブ (流山)	○	●		○	○	○	5 数	4 利	1 戦	0	8	22	5	17
4	サンスパッツ (我孫子)	●	●	●		○	○	5 数	2 利	3 戦	0	4	21	16	5
5	松葉 ニューセラミックス (柏)	●	●	●	●	7-0 11-0	○	5 数	1 利	4 戦	0	2	9	46	△37
6	中根ヤンキース (野田)	●	●	●	●	●		5 数	0 利	5 戦	0	0	4	43	△39

ブロックリーグ戦 勝敗表

B block

順位		カージナルス	大橋みどりファイターズ	沼南ファイヤーズ	七次台ジャガーズ	トライスター	野田ジャガーズ	試合	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	カージナルス (流山)		○ 5-1	○ 11-1	○ 8-0	○ 4-0	○ 21-1	5	5	0	0	10	49	3	46
2	大橋みどり ファイターズ (松戸)	● 1-5		○ 9-1	○ 8-1	○ 14-0	○ 18-1	4	4	1	0	8	50	8	42
3	沼南ファイヤーズ (柏)	● 1-11	● 1-9		○ 6-2	○ 11-4	○ 11-1	5	3	2	0	6	30	27	3
4	七次台ジャガーズ (白井)	● 0-8	● 1-8	● 2-6		○ 5-1	○ 12-4	5	2	3	0	4	20	27	△4
5	トライスター (柏)	● 0-4	● 0-14	● 4-11	● 1-5		○ 12-2	5	1	4	0	2	17	36	△19
6	野田ジャガーズ (野田)	● 1-21	● 1-18	● 1-11	● 4-12	● 2-12		5	0	5	0	0	9	74	△65

ブロックリーグ戦 勝敗表

C block

順位		柏ヤンガース (柏)	リトルキング (我孫子)	柏ビクトリー (柏)	新和ビクトリー (三郷)	加岸ベアーズ (流山)	柳沢イーグルス (野田)	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け点	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	柏ヤンガース (柏)	○ 3-2	○ 11-5	○ 12-2	○ 7-0	○ 18-1		5	5	5	0	10	49	10	39
2	リトルキング (我孫子)	● 2-3		○ 3-1	○ 8-5	○ 6-0	○ 14-0	5	4	1	0	8	33	9	24
3	柏ビクトリー (柏)	● 5-11	● 1-3		○ 6-5	○ 8-6	○ 7-5	5	3	2	0	6	31	26	5
4	新和ビクトリー (三郷)	● 2-12	● 5-8	● 5-6		○ 2-1	○ 11-1	5	2	3	0	4	21	32	△11
5	加岸ベアーズ (流山)	● 0-7	● 0-6	● 6-8	● 1-2		○ 6-1	5	1	4	0	2	13	24	△11
6	柳沢イーグルス (野田)	● 1-18	● 0-14	● 5-7	● 1-11	● 1-6		5	0	5	0	0	8	54	△46

ブロックリーグ戦 勝敗表

D block

順位		四小地区少年野球クラブ	柏リアノス	長崎FLB	根木内ヤングスターズ	梅郷パワーズ	湖北フレンズ	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	四小地区少年野球クラブ (柏)		△ 2-2	○ 4-3	○ 17-0	○ 16-2	○ 4-2	5	4	0	1	9	43	9	34
2	柏リアノス (柏)	△ 2-2		○ 11-0	○ 11-8	○ 12-2	○ 7-1	5	4	0	1	9	43	13	30
3	長崎FLB (流山)	● 3-4	● 0-11		○ 16-5	○ 7-6	○ 17-8	5	3	2	0	6	43	34	9
4	根木内ヤングスターズ (松戸)	● 0-17	● 8-11	● 5-16		○ 5-2	○ 3-2	5	2	3	0	4	21	48	△27
5	梅郷パワーズ (野田)	● 2-16	● 2-12	● 6-7	● 2-5		○ 14-2	5	1	4	0	2	26	42	△16
6	湖北フレンズ (我孫子)	● 2-4	● 1-7	● 8-17	● 2-3	● 2-14		5	0	5	0	0	15	45	△30

ブロックリーグ戦 勝敗表

E block

順位		柏ドリームス	野菊野ファイターズ	南流ファイターズ	新木野コンドル	新柏ツインズ	流山シャークス	試合	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得点差
1	柏ドリームス (柏)	○ 6-5	○ 4-3	○ 5-0	○ 14-1	○ 12-2	○ 5	5	1	0	10	41	11	30	
2	野菊野ファイターズ (松戸)	● 5-6	○ 4-3	○ 8-0	○ 3-1	○ 4-0	○ 5	4	1	0	8	24	10	14	
3	南流ファイターズ (流山)	● 3-4	● 3-4		○ 4-2	○ 15-0	○ 10-1	5	3	2	0	6	35	11	24
4	新木野コンドル (我孫子)	● 0-5	● 0-8	● 2-4		○ 5-2	○ 6-5	5	2	3	0	4	13	24	△11
5	新柏ツインズ (柏)	● 1-14	● 1-3	● 0-15	● 2-5		○ 4-1	5	1	4	0	2	8	38	△30
6	流山シャークス (流山)	● 2-12	● 0-4	● 1-10	● 5-6	● 1-4		5	0	5	0	0	9	36	△27

ブロックリーグ戦 勝敗表

F block

順位		常盤平ボーアイズ	柏ボーアイ	ブラックバード	鰐ヶ崎ジュニアフィンズ	ありんこアントス	柏南ギャランツ	試合	勝利	敗戦	引き分け	勝点	総得点	総失点	得失点差
1	常盤平ボーアイズ (松戸)		○ 5-1	○ 9-0	○ 7-1	○ 25-0	○ 16-0	5	5	0	0	10	62	2	60
2	柏ボーアイ	● 1-5		○ 14-2	○ 6-4	○ 10-4	○ 28-1	5	4	1	0	8	59	16	43
3	ブラックバード (我孫子)	● 0-9	● 2-14		○ 7-3	○ 5-1	○ 12-2	5	3	2	0	6	26	29	△3
4	鰐ヶ崎ジュニアフィンズ (流山)	● 1-7	● 4-6	● 3-7		● 8-11	○ 20-4	5	1	4	0	2	36	35	1
5	ありんこアントス (流山)	● 0-25	● 4-10	● 1-5	○ 11-8		● 2-3	5	1	4	0	2	18	51	△33
6	柏南ギャランツ (柏)	● 0-16	● 1-28	● 2-12	● 4-20	○ 3-2		5	1	4	0	2	10	78	△68

ブロックリーグ戦 勝敗表

G block

順位		流山ホークス	千代田ファイターズ	向小金ファイターズ	伊勢原ジャガーズ	久寺家エラーズ	野田ロッキーズ	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け	勝ち点	得点	失点	総得点	総失点	得点差
1	流山ホークス (流山)		○ 5-0	○ 20-4	○ 8-0	○ 12-0	○ 8-0	5	5	0	0	10	53	4	49		
2	千代田ファイターズ (柏)	● 0-5		○ 4-0	○ 4-2	○ 6-4	○ 14-0	5	4	1	0	8	28	11	17		
3	向小金ファイターズ (流山)	● 4-20	● 0-4		○ 11-5	○ 7-5	○ 2-1	5	3	2	0	6	24	35	△11		
4	伊勢原ジャガーズ (柏)	● 0-8	● 2-4	● 5-11		○ 3-2	○ 4-0	5	2	3	0	4	14	25	△11		
5	久寺家エラーズ (我孫子)	● 0-12	● 4-6	● 5-7	● 2-3		○ 7-2	5	1	4	0	2	18	30	△12		
6	野田ロッキーズ (野田)	● 0-8	● 0-14	● 1-2	● 0-4	● 2-7		5	0	5	0	0	3	35	△32		

ブロックリーグ戦 勝敗表

H block

順位		流山マリーンズ	清水タイガース	東深井ボーアイズ	みさと団地ライオンズ	加賀シャトルズ	豊四季イーグルス	試合	勝利	敗戦	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	流山マリーンズ (流山)		●○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	5	4	1	0	8	57	8	49
2	清水タイガース (野田)	○○○○○		●○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	5	4	1	0	8	30	9	21
3	東深井ボーアイズ (流山)	●○○○○	○○○○○		○○○○○	○○○○○	○○○○○	5	4	1	0	8	29	12	17
4	みさと団地ライオンズ (三郷)	●●●○○	●●●○○	●●●○○		○○○○○	○○○○○	5	2	3	0	4	29	28	1
5	加賀シャトルズ (柏)	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●		○○○○○	5	1	4	0	2	12	32	△20
6	豊四季イーグルス (柏)	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●		5	0	5	0	0	11	79	△68

ブロックリーグ戦 勝敗表

I block

順位		南部ルーキーズ	高柳サンダース	八木南クラブ	五香メッツ	増尾レッドスターーズ	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	南部ルーキーズ (野田)	○ 9-8	○ 5-1	○ 9-1	○ 12-5	○	4	4	0	0	8	35	15	20
2	高柳サンダース (柏)	● 8-9		○ 7-5	○ 11-7	○ 10-2	4	3	1	0	6	36	23	13
3	八木南クラブ (流山)	● 1-5	● 5-7		○ 11-4	○ 10-4	4	2	2	0	4	27	20	7
4	五香メッツ (松戸)	● 1-9	● 7-11	● 4-11		○ 6-3	4	1	3	0	2	18	34	△16
5	増尾レッドスターーズ (柏)	● 5-12	● 2-10	● 4-10	● 3-6		4	0	4	0	0	14	38	△24

ブロックリーグ戦 勝敗表

J block

順位		北柏スーパーナイン	松戸スラッガーズ	小田急ライオンズ	西新田子ども会	旭町サンライズ	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け	勝点	総得点	総失点	得失点差
1	北柏スーパーナイン (柏)		○ 4-2	○ 14-2	○ 13-1	○ 22-0	4	4	0	0	8	53	5	48
2	松戸スラッガーズ (松戸)	● 2-4		○ 8-2	○ 5-1	○ 16-0	4	3	1	0	6	31	7	24
3	小田急ライオンズ (流山)	● 2-14	● 2-8		○ 16-4	○ 17-0	4	2	2	0	4	37	26	11
4	西新田子ども会 (野田)	● 1-13	● 1-5	● 4-16		○ 18-0	4	1	3	0	2	24	34	△10
5	旭町サンライズ (柏)	● 0-22	● 0-16	● 0-17	● 0-18		4	0	4	0	0	0	73	△73

ブロックリーグ戦 勝敗表

K block

順位		野田シャイニング	セントラルパークス	光ヶ丘シャークス	大塚バッファローズ	初石クーガーズ	試合数	勝利	敗戦	引き分け	勝点	総得点	総失点	得失点差
1	野田シャイニング (野田)		○	●	○	○	4	3	1	0	6	47	6	41
2	セントラルパークス (松戸)	●		○	○	○	4	3	1	0	6	47	12	35
3	光ヶ丘シャークス (柏)	○	●		○	○	4	3	1	0	6	33	9	24
4	大塚バッファローズ (柏)	●	●	●		○	4	1	3	0	2	8	45	△37
5	初石クーガーズ (流山)	●	●	●	●		4	0	4	0	0	1	64	△63

ブロックリーグ戦 勝敗表

L block

順位		江戸川台フェニックス	豊上ジュニアーズ	八柱サンジュニアーズ	藤心ジャガーズ	野田ドンキーズ	試合数	勝利数	敗戦数	引き分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	江戸川台 フェニックス (流山)		○ 2-1	○ 18-3	● 2-7	○ 3-1	4	3	1	0	6	25	12	13
2	豊上ジュニアーズ (柏)	● 1-2		○ 12-1	○ 15-1	○ 10-0	4	3	1	0	6	38	4	34
3	八柱 サンジュニアーズ (松戸)	● 3-18	● 1-12		○ 7-2	○ 7-2	4	2	2	0	4	18	34	△16
4	藤心ジャガーズ (柏)	○ 7-2	● 1-15	● 2-7		○ 7-2	4	2	2	0	4	17	26	△9
5	野田ドンキーズ (野田)	● 1-3	● 0-10	● 2-7	● 2-7		4	0	4	0	0	5	27	△22

☆☆ ブロックリーグ戦概評 ☆☆

全12ブロックのうち最も熾烈な激戦を展開したのが、AとH、Kの3ブロック。ともに全勝は無く1敗で三つ巴となり、最終的な順位決定は得失点差での決着となった。このうちAブロックは小金原ビクトリー、高野台ジャガーズ、前ヶ崎クラブが4勝1敗の同成績となり、得失点差も小金原ビクトリーと高野台ジャガーズは27点で同じとなったが、対戦で小金原ビクトリーが勝利しているため上位となった。同成績の前ヶ崎クラブは小金原ビクトリーに勝ったものの、高野台ジャガーズに惜敗して最終的には三つ巴となったものの、得失点差で3位となって決勝大会への進出を逸した。

Hブロックの流山マリーンズ、清水タイガース、東深井ボーイズも4勝1敗の同成績で三つ巴となった。このブロックは勝った試合に大量点を挙げた流山マリーンズが、得失点差で他の2チームを大きく引き離して1位を決めた。ちなみに、同チームがリーグ戦の5試合で挙げた総得点は57点（1試合平均11.4点）で、これはリーグ戦全体では3番目に多い記録。2位は得失点差で東深井ボーイズを4点上回った清水タイガースだが、清水タイガースと東深井ボーイズはともにデフェンスが良く総体的に失点も少なかった。2位の座を逃がした東深井ボーイズは、流山マリーンズ戦の5失点での敗戦が痛かった。

Kブロックは5チーム編成だったが、レースは実質的には野田シャイニングとセントラルパークス、光ヶ丘シャークスの3チームによる壮烈な星の潰しあいで、最後まで纏めた。最終的に3チームが3勝1敗の同成績でしかも三つ巴となったことから、順位決定は得失点差決着となった。この結果、野田シャイニングとセントラルパークスは総得点が47点で同じとなったが、ともに得失点差で光ヶ丘シャークスを上回って決勝大会への進出権を獲得した。光ヶ丘シャークスはデフェンス面は安定していたが、攻撃面で下位2チームに対する得点合計26点を挙げても、それを大きく上回る野田シャイニングの36点と、セントラルパークスの41点の驚異的な爆発力には及ばず無念の涙を飲んだ。

1位と2位チームのマッチレースと、2位と3位チームの激戦で決勝大会への進出権を巡つてもつれたのが、C、D、E、I、J、Lの各ブロック。このうち4勝1引き分けの同成績で直接対決でも引き分けたのが、四小地区少年野球クラブと柏リアノスのDブロックで、最終的な順位は得失点差によって決定した。1位となった四小地区少年野球クラブと2位の得失点差は僅か4点で、この2チームの実力はほぼ互角と見られる。

IブロックとJブロックの1~2位争いも激烈だった。最終的にはIブロックは1位南部ルーキーズ、2位高柳サンダースの順位に決まったが、直接対決が大接戦だっただけに、どちらが勝ってもおかしくは無く、まさに実力伯仲と言えた。これはJブロックにも該当することで、北柏スーパーナインと松戸スラッガーズの直接対決では、北柏スーパーナインが接戦で勝ったが実力は殆ど互角と見られた。なお、勝った北柏スーパーナインが4試合で挙げた総得点53点は、リーグ戦全体では4番目に多い記録だが、このブロックは5チーム編成のため、これを1試合平均に換算すると13.3点となり、リーグ戦全体では実質的には最高記録となる。

Lブロックの1位江戸川台フェニックスと2位豊上ジュニアーズは、ともに3勝1敗の同成績で

決勝大会への進出を決めたが、このうち江戸川台フェニックスの1敗は下位チームに喫したもので、2位豊上ジュニアーズとの直接対決には勝利しているだけに、決勝大会進出には影響のなかった珍しいケース。このブロックはこの2チームの実力が突出していた。

CブロックとEブロックは1位チームが全勝で決勝大会への進出を決めたが、2位チームはそれぞれ3位チームとも接戦を展開して活気が漲った。このうちCブロックは柏ヤンガースが5戦全勝、2位となったリトルキングは1位の柏ヤンガースに1点差負けのほか、3位の柏ビクトリーには僅差で勝利して辛うじて決勝大会への出場権を獲得した。

Eブロックの上位争いも激戦だった。首位となった柏ドリームスは、2位の野菊野ファイターズと3位の南流ファイターズにそれぞれ1点差で勝利して5戦全勝したが、2位争いは熾烈を極めた。最終的には野菊野ファイターズが南流ファイターズに1点差勝ちして権利を獲得したが、敗れた南流ファイターズを含めて以上の上位3チームは実力が拮抗していて、ブロックリーグ戦は最も盛り上がった。

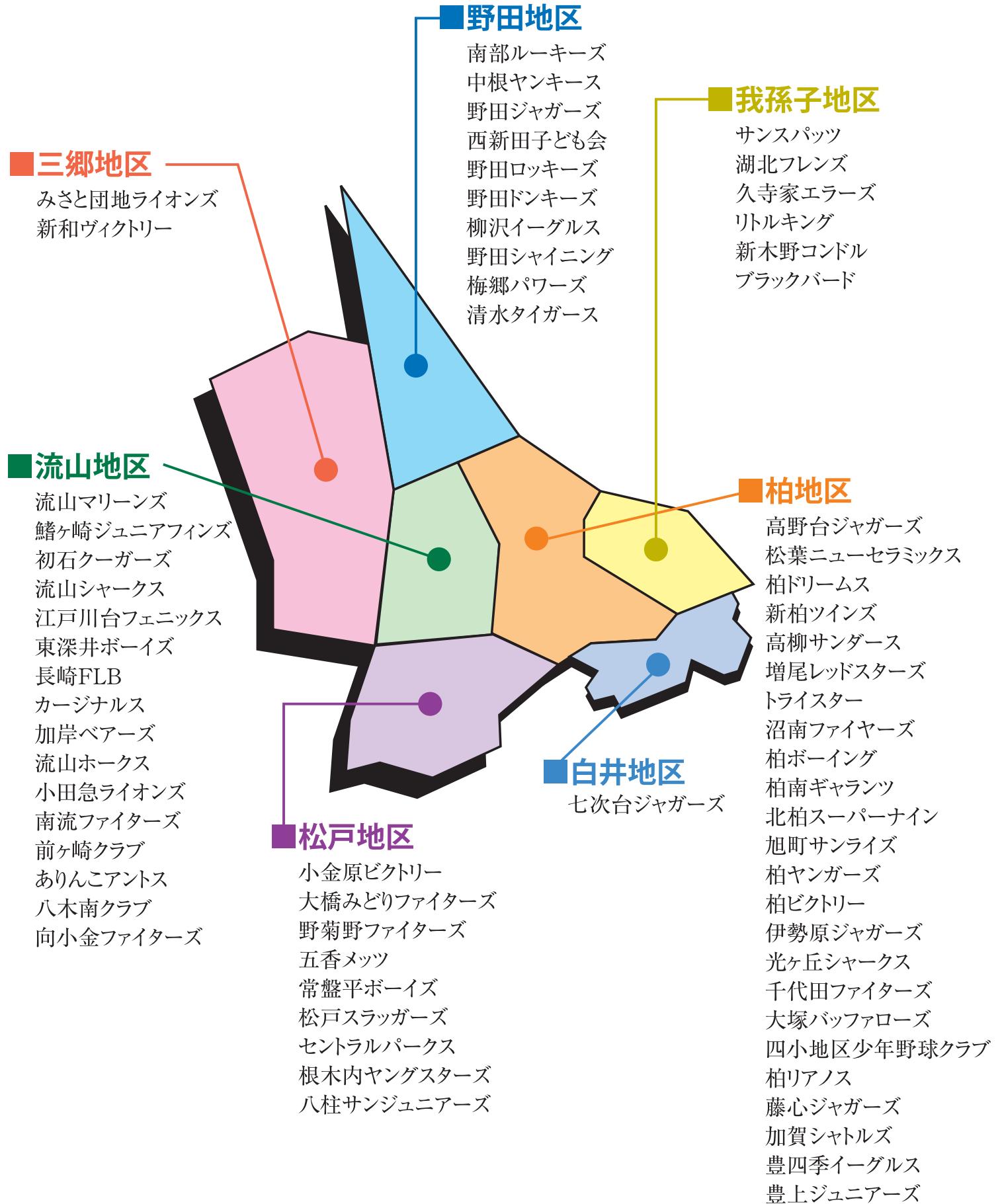
1位チームが独走したのは、B、F、Gの各ブロック。このうちBブロックで5戦全勝のカージナルスは、4勝1敗で2位となった大橋みどりファイターズとの直接対決でも快勝して、5試合での総得点49点（1試合平均9.8点）を挙げたほか、総失点は僅か3点（1試合平均0.6点）で、好守に突出した実力を発揮した。このブロックは2位となった大橋みどりファイターズも勝った試合は大量点（総得点50点）を挙げて存在をアピールした。

Fブロックの常盤平ボーイズは圧倒的な実力を発揮して文句なく5戦全勝、リーグ戦では総得点の新記録と、総失点の新記録を樹立した。ちなみに、同チームがリーグ戦の5試合で挙げた総得点はなんと62点（1試合平均12.4点）で、逆に総失点は僅か2点（1試合平均0.4点）の素晴らしい記録だった。このブロックで常盤平ボーイズに敗れて2位となった柏ボーンイングも、常盤平ボーイズとの首位争いは完敗だったが、他の4試合には大量得点を挙げて総得点59点（1試合平均11.8点）の快記録（リーグ戦第二位）を作った。

Gブロックの流山ホークスも独走だった。リーグ戦全5試合のうち実に4試合が完封勝ちで、総得点53点（1試合平均10.6点）はリーグ戦では4番目に多い記録。同時に総失点4点は3番目に少ない記録。好守にまとまって持てる力を存分に発揮した。



第34回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 出場チーム



新聞掲載記事

ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ!! THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

毎月30日にASA(朝日新聞販売店)からお届けします

平成27年
2月28日号

No. 244

配布／千葉県北西部8市
発行／朝日れすか編集室

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-4-19-3F
[TEL]04(7143)4021 [FAX]04(7143)3453
[URL]<http://www.asa-kids.com/>

2月14日(土)、野田市河川敷少年野球場で「第34回カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会」の決勝が行われ、激闘の末、流山マリーンズがカージナルス(流山市)に8-6で勝利し、優勝の栄冠を手にした。

同大会は、東葛エリア68チームが参加し、12ブロックに分かれ予選リーグを行い、上位2チームが決勝トーナメントに出場。現5年生以下で構

東葛68チームの頂点に! カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会

成された新チームでの力試し

ともなる大会。決勝は、カージナルスと流山マリーンズの流山勢の対戦となつた。試合は2回表、カージナルス守備の乱れからマリーンズが先制点を挙げた。反撃を見せたいカージナルスは3回裏、

足を絡めた攻撃を見せ2点を

奪い逆転に成功する。4回裏にもカージナルスは追加点を挙げ、マリーンズを突き放した。5回表、マリーンズも意地を見せ1点を奪つた。6回表、優勝が目の前のカージナルスは守備が乱れ、マリーンズに同点に追いつかれ、サド



2/14(土)、決勝で見事なスライディングを見せるカージナルス

3 位	柏ドリームズ	優勝	流山マリーンズ
準優勝	カージナルス	カージナルス	カージナルス

主な結果は次のとおり。

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 歴代ベスト3

回数	開催年度	出場 チーム 数	優 勝	準 優 勝	第三位
1	昭和57年 1982	15	リアノス (柏)	伊勢原ジャガーズ (柏)	カージナルス (流山)
2	昭和58年 1983	28	初石クーガーズ (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)	リアノス (柏)
3	昭和59年 1984	28	千代田ファイターズ (柏)	つくしが丘ファイブス (柏)	江戸川台アトラス (流山)
4	昭和60年 1985	36	松葉ニューセラミックス (柏)	ありんこアントス (流山)	つくしが丘ファイブス (柏)
5	昭和61年 1986	36	リアノス (柏)	増尾レッドスターズ (柏)	加岸クラブ (流山)
6	昭和62年 1987	42	増尾レッドスターズ (柏)	向小金ファイターズ (流山)	名戸ヶ谷アトミック (柏)
7	昭和63年 1988	42	千代田ファイターズ (柏)	増尾クラブ (柏)	名戸ヶ谷ウォリアーズ (柏)
8	平成元年 1989	47	松葉ニューセラミックス (柏)	西山イーグルス (柏)	つくしが丘ファイブス (柏)
9	平成2年 1990	48	柏ヤンガーズ (柏)	ありんこアントス (流山)	光団ファイターズ (柏)
10	平成3年 1991	48	ありんこアントス (流山)	増尾レッドスターズ (柏)	名戸ヶ谷アトミック (柏)
11	平成4年 1992	50	千代田ファイターズ (柏)	増尾クラブ (柏)	つくしが丘ファイブス (柏)
12	平成5年 1993	56	千代田ファイターズ (柏)	高野台ジャガーズ (柏)	トライスター (柏)
13	平成6年 1994	55	西山イーグルス (柏)	泉ライオンズ (流山)	ありんこアントス (流山)
14	平成7年 1995	54	ありんこアントス (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	梅郷パワーズ (野田)
15	平成8年 1996	51	高野台ジャガーズ (柏)	梅郷パワーズ (柏)	トライスター (柏)
16	平成9年 1997	48	前ヶ崎クラブA (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	清水タイガース (野田)
17	平成10年 1998	54	松葉ニューセラミックス (柏)	千代田ファイターズ (柏)	豊四季イーグルス (柏)
18	平成11年 1999	54	千代田ファイターズ (柏)	清水タイガース (野田)	八景台ジュニアーズ (松戸)
19	平成12年 2000	57	千代田ファイターズ (柏)	牧の原ジュニアーズ (松戸)	向小金ファイターズ (流山)
20	平成13年 2001	56	千代田ファイターズ (柏)	松葉ニューセラミックス (柏)	前ヶ崎クラブ (流山)
21	平成14年 2002	59	千代田ファイターズ (柏)	串崎スワローズ (松戸)	セントラルパークス (松戸)
22	平成15年 2003	61	長崎FLB (流山)	大津が丘ファイターズ (柏)	高野台ジャガーズ (柏)
23	平成16年 2004	64	松葉ニューセラミックス (柏)	高野台ジャガーズ (柏)	久寺家エラーズ (我孫子)
24	平成17年 2005	72	初石クーガーズ (流山)	東深井ファイナルズ (流山)	加岸ベアーズ (流山)
25	平成18年 2006	81	加岸ベアーズ (流山)	高野台ジャガーズ (柏)	加賀シャトルズ (柏)
26	平成19年 2007	90	千代田ファイターズ (柏)	加岸ベアーズ (流山)	松葉ニューセラミックス (柏)
27	平成20年 2008	80	串崎スワローズ (松戸)	松葉ニューセラミックス (柏)	柏ビクトリー (柏)
28	平成21年 2009	76	野田ドンキーズ (野田)	セントラルパークス (松戸)	串崎スワローズ (松戸)
29	平成22年 2010	82	初石クーガーズ (流山)	カージナルス (流山)	高野台ジャガーズ (柏) 常盤平ボーズ (柏)
30	平成23年 2011	78	高野台ジャガーズ (柏)	加岸ベアーズ (流山)	豊上ジュニアーズ (柏) 流山ホークス (流山)
31	平成24年 2012	81	高野台ジャガーズ (柏)	カージナルス (流山)	江戸川台フェニックス (流山)
32	平成25年 2013	72	高野台ジャガーズ (柏)	豊上ジュニアーズ (柏)	セントラルパークス (松戸)
33	平成26年 2014	72	※悪天候等の影響により、決勝大会は中止。各ブロック1位・2位の表彰をもって終幕。		
34	平成27年 2015	68	流山マリーンズ (流山)	カージナルス (流山)	柏ドリームス (柏)

(注)第29回と第30回大会は、三位決定戦を行わず2チーム同成績

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 開催要項

(平成25年一部改正)

主 催・主 管 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会運営委員会

共 催 柏市・流山市・野田市・松戸市 各少年野球連盟

後 援 株式会社カリフ・柏食品株式会社 ダイワマルエス株式会社

株式会社共同写真企画 流山ボーイズ 朝日スポーツキッズ

開 催 期 間 ブロックリーグ戦

原則として抽選会以降の10月から年内12月下旬までに終了させる。

決勝トーナメント大会

翌年1月下旬から2月中旬までの土・日曜日・祝日に開催（雨天順延）

- 開 催 方 法
- ・出場資格は5年生以下の新チームとする。
 - ・全日本軟式野球連盟（少年野球）規則及び千葉県、各市内大会の規則に準ずる。
 - ・参加チームを複数のブロックに分け、それぞれ総当たりのリーグ戦によって上位2チームまでが決勝トーナメント大会に出場出来る。なお、1ブロックの構成は6～8チームをベースとする。
 - ・試合方法は全試合7回の時間制とし、試合時間はシートノックを除き正味1時間30分。シートノックは5分以内とする。
 - ・試合の終了は、3アウト目が主審の時計で1分を切っている場合は試合終了。1分以上の残り時間がある場合は次の回に入る。但し、7回までとする。
 - ・リーグ戦での得点によるコールドゲームはなく、全て7回または時間制。7回終了及び時間に達しても勝負がつかない場合は引き分け。なお、リーグ戦では時間内の延長戦と特別ルールの適用は行わない。
 - ・但し、決勝トーナメント大会は、決勝戦を除いた全試合にコールドゲーム（3回以降10点差、5回以降7点差）制が適用される。同点で勝負がつかない場合は、特別ルール（一死走者満塁、打者は前回の最終打者の次打者、走者は最終打者を含め遡って3名）を適用する。
 - ・決勝戦のみコールドゲームは用いないが、回数は7回または規定時間までとする。同点の場合は特別ルールを適用（2回まで）するが、それでも勝負がつかない時は抽選によって勝敗を決める。
 - ・決勝大会がダブルになった場合の第一試合で、7回終了時点で勝負がつかない場合は、特別ルール（上記参照）を適用して勝敗を決める。7回終了以前で規定時間に達した場合も同様とする。
 - ・投手の一試合での投球回数を5回、15アウトまでとし、さらに一日の投球回数は10回30アウトまでとする。
 - ・ベンチは若番が一塁側とし、先攻・後攻はジャンケンで決める。

順位基準 リーグ戦で同成績の場合は対戦勝利チームが上位。三つ巴になった場合は、得失点差の最も多いチームが最上位。得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位。
但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームがたとえ得失点差で上回っても、順位は3チームの中では最下位となる。
なお、リーグ戦の成績は平成25年度より従来の勝率制を廃止して、勝点制に改正した。勝点は勝利2点、引き分け1点、敗戦0点とする。

日程編成 リーグ戦の日程は各ブロックごとに決め、グランドも同時に確保する。雨天中止などで日程の消化がズレ込んだ場合は、決勝トーナメント大会出場可能チームの日程を最優先して消化に努める。他の大会と掛け持ちのチームは、あくまでも当大会の日程消化を優先させる。
負けが込んで試合消化に意欲を失ったチームの日程消化遅延、及び試合打ち切りなどについては、とくにやむを得ない事情以外は認めない。この場合、その程度如何によっては、不戦敗（得点は0-10）または次回からの出場停止処分の対象となるので注意して下さい。
当大会は新人の研修大会でもあり、出場チームは経験を積むためと地域交流を図る意味でも大切ですので、積極的に試合を行うよう努めて下さい。

ブロック長 ブロック長はブロックリーグ戦の運営については、全ての責任と権限を有する。リーグ戦の参加チームが、日程の編成をブロック長に一任した場合は、理由の如何を問わず必ずその決定に従う。不履行並びに日程消化に支障を来たすような行為をした場合は、当該チームは棄権（不戦敗扱いでスコアは0-10）とみなして勧告し、その行為を2回以上犯した場合は、自動的に失格（以降の試合は出来ない）とする。
ブロック長は、大会期間中は実行委員も兼務し、大会の円滑な運営に注力する。リーグ戦については、試合の消化状況や結果を常に掌握して、一定期間内に事務局に報告することを義務付ける。

審判当番 リーグ戦については、各ブロック内で話し合って決める。他の大会との掛け持ちなどで当日の審判が出来ない場合は、その旨必ず了解を取り、後日その分を埋め合わせする。無断で不履行した場合は、当該チームは失格の対象となるので注意して下さい。
決勝トーナメント大会には、各ブロック内で決勝大会に出場出来なかったチームに、一度は審判当番（1名以上）が義務付けられます。審判当番者の服装については、無帽、サンダル履きは厳禁です。なお、決勝トーナメント大会の審判当番者には、一名につき500円の食事代が支給されます。
決勝トーナメント大会の審判当番を不履行した場合でも、ペナルティ（次回からの出場停止ほか）の対象となりますので注意して下さい。

大会参加費 1チーム 5,000円（抽選会の時に会計に納入して下さい）

記録 事務局（事業部）及びブロック長は、各ブロックリーグ戦のデータを常に掌握しておく。また、当該ブロックの試合結果などはその週のうちに下記まで報告して下さい。

平田宗久 T E L / F A X 0 4 - 7 1 5 5 - 4 0 5 2 (F A Xにて)

小泉博康 T E L / F A X 0 4 - 7 1 5 4 - 8 5 2 9 (F A Xにて)

(注) ホームページに掲載します

H P h t t p : // w w w 1 3 . p l a l a . o r . J p / n n b b /

「流山市少年野球連盟北部地区」 カリフ大会の項目に書き込み

参加チーム 抽選会（毎年10月中旬から11月初旬に開催）に出席を持って決定する。なお、当大会の抽選会には、当該チームの関係者が必ず出席することが義務付けられています。他チームへの委託及び代理は、この大会に限っては一切認められません。抽選会の後ブロック内での打ち合わせがありますので、チームの代表者、監督、コーチ、マネージャーなど詳しく予定の把握できる人の出席をお願いします。この点はくれぐれも注意してください。

開会式 決勝トーナメント大会の出場チームだけによって行うこととする。開始は原則としてAM9：00も、出場チームはAM8：30までに受付を済ませる。他の大会との掛け持ちの場合でも、開会式には若干名の出場を義務付けます。また、前回の受賞チームで決勝トーナメント大会に出場出来ないチームでも、優勝旗、準優勝杯などの返還があるため、若干名は必ず出場する。なお、開会式には出場各チームの撮影があるため、プラカードは各チームで必ず持参して下さい。団旗の持込みも大歓迎です。開会式には出場チームの指導者はユニフォームを着用して、必ず最後尾に参列して下さい。

- 付記事項 ①選手及び指導者（監督及びコーチ2名）は、ユニフォームの着用を義務付ける。ただし、代表者、スコアラーはこの限りではない。ベンチ入りの指導者は5名まで。選手と指導者のユニフォームには必ず背番号をつけ、主将は10番、監督は30番、コーチは28番と29番とする。
- ②ユニフォーム着用の指導者は、ランナーコーチに立つことが出来る。
- ③選手及び指導者は必ず帽子を着用する。金属のついたスパイクは禁止。ヘルメットは打者、走者、次打者、ランナーコーチ（選手）ともに着用する。捕手は試合時、練習時にかかわらずマスク、ヘルメット、レガースを必ず着用する。控え捕手についても同様とする。
- ④冬期間の大会でもあり、審判員及び大会役員が認めた場合に限り、試合中にジャンパー、グランドコートの着用が許される。
- ⑤応援者の汚い野次や言動に対しては、大会役員及び当該審判員は直ちに注意を促し、改まらない場合は退場させる権限を持つ。
- ⑥指導者は選手の健康管理には十分気をつける。試合中の怪我や病気については、基本的には当該チームで対処し、応急処置を施してください。
- ⑦リーグ戦及び決勝トーナメント大会に於いては、各チームは積極的にグランド整備や試合の準備に協力して下さい。
- ⑧グランドでの駐車については、所定の場所以外は他人の迷惑となりますので、とくに注意してください。なお、本会場では、出場各チームは本部役員駐車場には駐車はご遠慮ください。

カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会 役員名簿

(平成25年11月改選)

※平成27年2月一部変更

会長	長	松崎	公昭	
長補佐		山田	晃一	東葛地区親睦少年野球大会会長
副会長		青木	誠	野田市少年野球連盟役会長
副会長		金丸	正孝	柏市少年野球連盟会長
副会長		平田	宗久	流山市少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務				
運営副委員長		加納	貞夫	野田市少年野球連盟役員
審判部副部長兼務				
審判部部長		松本	秀樹	
審判部副部長		藤井	豊務	柏市少年野球連盟役員
審判部副部長		川口	祐司	松戸市少年野球連盟役員
事業部部長		小泉	博康	
事業部副部長		大割	健夫	柏市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)		今野	正博	野田市少年野球連盟役員
会計監査役兼務				
運営委員(事業部担当)		八鍬	昌次	流山市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)		高崎	久明	柏市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)		柴田	清光	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(事業部担当)		我妻	憲和	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		北井	恒夫	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		渋谷	重雄	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		梅田	敦司	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		西ヶ迫	勝宏	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		井田	二穰	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		豊田	勇人	流山市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		堀江	速人	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		岡野	誉次	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		湯本	秀也	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		内田	欽巖	野田市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		八木澤		柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		吉田	繁	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		鈴木	三郎	柏市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		濱田	健介	柏市・松葉ニューセラミックス
運営委員(審判部担当)		桑名	裕介	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		居倉	諭	松戸市少年野球連盟役員
運営委員(審判部担当)		吉岡	貴明	松戸市少年野球連盟役員
顧問		善積	信夫	ダイワマルエス東京営業所長
顧問		白永	公典	流山ボーイズ代表
顧問		新佐古	公人	流山ボーイズ会長兼監督
顧問		窪田	幸平	流山ボーイズ助監督

**第34回 カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会
会計報告**

◆ 収入の部 合計 435,616円

大会参加費	@ 5000 × 68 チーム	340,000
ボール販売手数料		18,000
第33回大会より繰越金		47,616
流山クラブ広告費		30,000
株ダイワマルエス (副賞・ボール4箱)		
カリフ レプリカ・カップ 1位～4位		

◆ 支出の部 合計 318,003円

***大会運営費** 111,840

内訳	参加賞用ボール代	51,840
	審判手当 (24試合×4名×500)	48,000
	役員 (のべ 12名)	12,000

***賞状・トロフィー代** 95,103

内訳	賞状	20,000
	トロフィー代(一位～四位・ブロック①・②)	75,103

***資料代(冊子データ処理)** 90,000

編集代	10,000
冊子(データ処理)	80,000

***事務局経費** 17,060

内訳	・抽選会・会場費	12,600
	資料製作費・その他	2,000
	・決勝トーナメント抽選会	2,460
	会場費・資料製作費	

***会議費** 4,000

内訳	打ち合せ会議費	2,000
	打ち合せ会議費(決勝戦)	2,000

収入 435,616円 - 支出 318,003円 = 収支合計 117,613円

117,613円は、優勝・準優勝カップ作成に補填し、また、第35回大会に繰り越します。

平成27年2月23日 会計担当 平田宗久



MEMO

Forever Glory Days!

嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！



全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7 (軟式野球会館) ☎03-5474-0741

◆本社：TEL06-6453-5981 ◆中部支店：TEL052-783-0825

◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741 ◆九州支店：TEL092-474-8621

オールカラーで届ける感動!

東葛キッズのスポーツ情報なら、毎月10日と30日の朝日新聞に折り込まれる「朝日スポーツキッズ」が一番!取材力を生かしたオールカラー、迫力満点の紙面で紹介されると「まるでプロ選手みたい!」と大好評。インターなどの読み物や、大会情報も充実しています。大切な思い出と貴重な記録の詰まった縮刷版もどうぞ!

●松戸 ●柏 ●我孫子 ●野田
●流山 ●鎌ヶ谷 ●白井 ●印西



ASA 子どもスポーツ新聞

朝日スポーツキッズ

THE NEWSPAPER FOR CHILDREN "ASAHI SPORTS KIDS"

〒277-0852 千葉県柏市旭町1-10-5 TEL:04-7143-4021 FAX:04-7143-3453

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
(一人あたり2,500円から7,000円)

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
(一人あたり3,500円から)

●NER企画のスタンス●

- 1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。
- 2,一枚の写真の中で主役は一人!
- 3,子供たちの表情を重視します!
- 4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

スポーツ少年団・

イベント・

その他撮影承ります。

〒277-1121 千葉県我孫子市中峰1604-4

お問い合わせは
TEL&FAX

04-7187-1992

この一球から、
ドラマは始まる。

優れた品質で高い評価を頂いているマルエスボールは、デザインを一新。より進化した性能と、公認球としての信頼性で、スポーツマインドをサポートし続けます。

 **MARUS BALL**
マルエスボール

◆A号、B号、C号、D号 ◆スピニングボール ◆バッティングボール



-A号 (一般用)
12個入り



-B号 (中学生用)
12個入り



-C号 (小学生用)
12個入り

流山クラブボーイズ 中学部



公益財団法人

日本少年野球連盟 BOYS LEAGUE

新入部員募集!!

流山クラブ中学部には毎年、各地域の少年野球連盟から多くの少年達が入部し
活躍を続けています。

そして、卒団生の中には甲子園で活躍した選手も多く、
プロ野球選手になった先輩もいます。

流山クラブ中学部では、硬式野球の基本から十分な指導が受けられ、
一年生から練習試合を通じて野球の面白さ、楽しさが思いっきり体験できます。
皆さん、是非一度、流山クラブに見学・体験にお越し下さい。

主な進学校

習志野高校	花咲徳栄高校	専修大松戸高校
木更津総合高校	市立柏高校	安田学園高校
東葛飾高校	早稲田実業高校	西武台千葉高校
浦和学院高校	県立柏高校	東洋大付属牛久高校
我孫子高校	帝京高校	流経大付属柏高校
春日部共栄高校	二松学舎沼南高校	常総学院高校
柏陵高校	日大豊山高校	拓大付属紅陵高校
西望学園高校	市川学園高校	他
市立船橋高校	関東第一高校	

主な戦績

- ◆全国春季大会 出場12回
- ◆全国選手権大会 出場12回 ベスト4=2回
- ◆ジャイアンツカップ 出場 3回 ベスト8=1回
- ◆関東大会 出場17回 準優勝1回・ベスト4=3回
- ◆東日本大会 出場16回 優勝1回・準優勝1回
- ◆関東ボーイズリーグ大会 第一回大会から連続参加中 準優勝1回・ベスト4=3回

中学部 連絡先

代表 白永 公典 090-9310-3229
監督 新佐古 公人
助監督 窪田 幸平 090-3218-4174

<http://www.interneedsco.com>

流山市

江戸川河川敷グランドH面にて、
練習しています。※試合でない場合もありますので、確認をとってください。

見学・体験
大歓迎!!

